

第34回MOA美術館全国児童作品展 書写の部 文部科学大臣賞受賞者が岡山市長を表敬訪問します

児童の絵画や書写の作品を公募・審査し、表彰する「第34回^{エムオーエー}MOA美術館全国児童作品展」の書写の部で、最高位である文部科学大臣賞を受賞した湯浅里映^{ゆあさりえ}さんが、岡山市長を表敬訪問します。

1 日時

令和6年2月19日(月)16時～16時15分

2 場所

岡山市役所本庁舎3階 市長室

3 訪問者

湯浅 里映 さん(岡山市立吉備小学校2年) ※母親同席

<MOA美術館岡山児童作品展実行委員会 事務局>

^{すみだ}角田 みどり 実行委員長

川端 生也 氏

小高 里英 氏

黒住 良子 氏

4 受賞作品

「みどり」※別紙参照

5 受賞の経緯について

<第34回MOA美術館岡山児童作品展>

応募総数:2,216点(絵画2,140点、書写76点)

対象:岡山市及び近隣の小学校(65校)等

審査日:令和5年10月9日(月・祝)

受賞:優秀作品10点 入選作品105点

特に優れた3点(絵画2点、書写1点)を全国展へ選出

湯浅さんは、岡山展の書写の部で「岡山市長賞」を受賞し、全国展へ選出

<第34回MOA美術館全国児童作品展>

応募総数 190,347 点(絵画の部:136,461 点 書写の部:53,886 点)

参加校数 5,887 校(国内 5,232 校 海外 655 校)

審査日:令和 5 年 11 月 28 日(火)

受賞:絵画の部 220 点、書写の部 80 点、団体の部 8 団体

湯浅さんは、全国展の書写の部で最高位である「文部科学大臣賞」を受賞

(※文部科学大臣賞は、1年生～6年生で各1点贈呈)

【問い合わせ先】

岡山市文化振興課 熊代・西川 直通086-803-1054 内線3740・3744

文部科学大臣賞



「みどり」

湯浅 里映 岡山2年

〔感想〕

私は花や木などの植物が大好きで、家の庭にはたくさんの緑があるので、この課題にしました。「みどり」は筆を回すところが多く「と」の2画目がきれいに回らなかったのと、三文字の大きさが揃わなかったので、たくさん練習をしました。さわやかに「みどり」と書けた時はとてもうれしかったです。

〔審査評〕

丁寧で確かな用筆と、安定した運筆による力強い点画が印象的です。毛筆の特性を十分に生かしながら、日常生活の中で文字を書いているかのような自然で確かな運筆の様子が、名前を書く際の小筆の運筆に至るまで感じられる素晴らしい作品です。